

生き物が住みやすいキレイな水

たくさんの生き物が住みやすくなるためにはどうしたら良いのでしょうか。私の父は毎年ホタルを家で育てて川に返すという取り組みを行っています。昔はこの川にでもいた身近な存在のホタルが、今ではそのような取り組みをしなければいけないほど自然にほとんど見られないのです。それは様々なことが原因となっていて、私から流れる排水の町でも工場が多くて、そこから流れる排水によって川が汚れ、たくさんの生き物たちの住みかが奪われていました。そこで私は「生き物が住みやすいキレイな水」になるにはどうしたら良いのかについて考えてみました。はじめに、水の生き物はなぜ住みにくくなったのかについて調べました。原因は大きく分けて二つあります。まず一つ目は先ほども挙げたように水の汚染が原因です。工業排水

五條市立五條東中学校 二年

梶原 千愛

のほかにも、私たちが日常生活を営む際に出している生活排水も水の汚染の原因となっています。何気なく使っている油や合成洗剤が分解されないまま流れてしまったり水が汚れてしまっているようです。生き物が住みにくくなっている二つ目の原因は、工事によって植物や微生物が減っていることです。昨今、洪水や津波から町や人を守るために川岸や海沿いにコンクリートの堤防が造られています。すると、そこに住んでいた生き物は大小関係なく住みかを奪われてしまいます。特に植物や微生物は水をキレイにしてくれる役割をもっています。が、いなくなってしまうことで水がキレイになりにくくなるのです。生き物の命の源である水を人間の勝手な行いによって奪っているのです。例えば、これまでシャワー

を使っただけでも平気で水を出しっぱなしにしてしまっただけで約三十六リットルを出したままに流れてしまっているのです。さらにそのほかにも一日に私が使っている水の量は二百から三百リットルも使っています。そして生活用水の量は生活水準が上がっていくにつれてどんどん増え続けています。このままでは水は汚れ、なくなってしまう。

そこで私は、これを機に四つの取り組みを実践してみようと考えています。一つ目の取り組みは節水です。具体的には、お風呂の残り湯で洗濯をすることや、顔を洗うときに一回水を止めることなどです。二つ目の取り組みは一つでもという気持ちでゴミ拾いをするということです。ゴミ拾いをするだけでなく、生き物や環境も守ることができず。それに自分の気持ちも良くなり、とてもすっきりした気分になります。三つ目の取り組みは、油ものはキレイにキッチンペーパーでふき取り、その後適量の食器用洗剤で洗うことです。そうすれば生活排水の汚れを少しでも抑えることができます。四つ目の取

り組みは生き物が住みやすくなるための活動に目を向けてみることで。一人ひとりが意識して心がけることによって人間やその他の生き物が健康で安全に暮らせます。そうすることで地球もキレイな水の惑星でいられます。みなさんも水を大切に使いましょう。